

氏名 金 二 城 (Kim Yisung)

所属 社会学部社会学科

職 種 教授

生年月日 1972年4月3日

[履 歴]

[学 歴]

2002年3月 武蔵工業大学 環境情報学科卒業

2004年8月 Griffith University (Australia) 環境教育専攻修士課程修了

2009年8月 ソウル大学 (韓国) 師範大学院 協働課程環境教育専攻博士課程  
修了

[学 位]

2009年8月 教育学博士 ソウル大学

[職 歴]

2007年5月～11月 韓国教育評価院 委嘱研究員

2009年9月～2014年12月 ソウル教育大学、ソウル大学、延世大学などで非常勤  
講師

2011年3月～2012年2月 延世大学特任教授

2015年3月～2016年3月 韓国職業能力開発院 専門研究員

2016年5月～2018年6月 韓国青少年政策研究院 副研究委員

2018年8月1日～青森大学教授 (現在に至る)

[受 賞]

韓国 教育府長官 表彰賞 (2016)

[所属学会]

日本環境教育学会、韓国地理環境教育学会、韓国環境教育学会、韓国環境哲学学会

[教育活動]

[担当科目]

社会学部：社会学専門演習Ⅰ、グローバリゼーション論、環境社会学

全学部・基礎スタンダード：韓国語ⅡA・ⅡB

[卒業研究指導]

特記事項なし

### [ゼミ指導]

社会学専門演習で3年生3名を指導 (2024年度)

社会学入門演習で1年生8名を指導 (2024年度)

### [教育指導に関する特記事項]

特になし

### [研究活動]

#### [研究テーマ]

持続可能な社会のための個人、学校、企業、地域の在り方。

### [著書、論文、総説]

#### [著書]

1. 『これからの地方創生・関係人口』人言洞出版社、2024年、152頁。岩本泰氏（東海大学）など4人と共著。
2. 『環境教育論』ハクジシャ出版社、2014年、292頁。チョ・ソクジン氏（梨花女子大学）など4人と共著。
3. 『環境とグリーン成長』（高等学校教科書）、天才出版社、2014年、239頁。イ・サンウン氏（ソウル教育大学）など6人と共著。
4. 『環境とグリーン成長の教師指導書』（中学校教科書）、天才出版社、2013年、304頁。イ・サンウン氏（ソウル教育大学）など5人と共著。
5. 『環境とグリーン成長』（中学校教科書）、天才出版社、2013年、253頁。イ・サンウン氏（ソウル教育大学）など5人と共著。
6. 『環境とグリーン成長』（高等学校教科書）、天才出版社、2011年、221頁。イ・サンウン氏（ソウル教育大学）など5人と共著。

#### [論文]

1. 金二城(2023)、「太宰治『津軽』外ヶ浜ルート観光資源としての可能性」, 青森大学附属総合研究所紀要, 24(2), 21-27.
2. 金二城(2022) “ESG 経営のための企業環境倫理の意義と実践方法に関する研究” 韓国環境哲学学会、Vol. 33, pp. 7-28. 単著。
3. 金二城(2021) “持続可能な開発とSDGsの弁証法的な展開過程に関する考察—環境、経済、社会を中心に” 韓国環境哲学学会、Vol. 32, pp. 43-67. 単著。
4. 金二城(2017) “学校教育の変化と対案教育委託教育機関の役割” 教育政策フォー

ラム、第 291 巻, pp. 15-20. 単著。

5. 金二城、カン・ミンジョン(2015) “小学生の自然体験を活用する詩書きの効果検証研究”、韓国環境教育、第 28 巻, 第 1 号, pp. 43-58. 共著。「審査付」

6. 金二城、イ・サンウン、ジョ・ヒュンジュン(2012) “学校教育のための企業の教育寄付参加に対する教員の認識調査”、韓国初等教育、第 23 巻, 第 4 号, pp. 307-322、20. 共著。「審査付」

7. ジョ・ヒュンジュン、バク・テウン、金二城(2011) “政府研究機関の総意的体験活動のための教育寄付参加に対する教員の認識調査”、学習者中心教科教育研究、第 11 巻, 第 4 号, pp. 393-417. 共著。「審査付」

8. イ・サンウン、キム・ジョンウ、金二城(2011) “ソウル地域低炭素グリーン成長教育方案研究”、韓国初等教育、第 21 巻, 第 3 号, pp. 81-102. 共著。「審査付」

9. 金二城・リュウ・ゼミョン(2011) “環境経営と環境教育のための企業環境教育の意義:日本の共同環境教育に関する質的事例研究を中心に”、韓国地理環境教育、第 19 巻, 第 1 号, pp. 89-103. 共著。「審査付」

10. 金二城(2010) “日本の企業環境教育の研究動向に関する考察”、韓国環境教育、第 23 巻, 第 1 号, pp. 89-103. 単著。「審査付」

11. キム・ジョンウク、キム・チャンク、キム・ナンシュ・金二城、キム・キョンヒ(2009) “Climate Change and Sustainable Development: The Response from Education in Korea”、教育研究と実践、第 74 巻, pp. 65-98. 共著。「審査付」

#### [学会発表]

1. 金二城(2024)、日本の伝統環境思想研究の示唆点—江戸時代を中心に、2024 年度韓国環境哲学学会春季発表大会

2. 金二城(2022)、ESD 経営のための企業環境倫理の必要性と可能性の考察、2022 年度韓国環境哲学学会発表大会

3. 金二城(2021)、持続可能な開発と SDGs の弁証法的な展開過程に関する考察—環境、経済、社会を中心に、韓国環境哲学学会秋季学術発表大会

4. 金二城(2021)、環境規模のバイアスによる問題と解決方法に関する研究、韓国環境教育学会冬期学術大会

5. 金二城(2018)、“企業環境倫理の必要性と可能性考察”、2018 年度韓国環境哲学学会発表大会

6. 金二城(2017)、“自由学期制と代案教育、そして ESD プロジェクト学習”、2017 年度韓国地理環境教育学会発表大会。

7. 金二城(2015)、“自由学期制のための体験学習の意義と効果的実践方案”、2015 年度

韓国地理環境教育学会発表大会。

8. ナン・ミリ、金二城(2014)、“自然観察を通じての詩作りプログラム開発に関する実行研究”、2014 韓国環境教育大会。

9. 金二城(2014)、“自然体験活動を通じての詩書き教育の効果検定研究”、韓国地理環境教育学会発表大会。

10. Yisung Kim(2011.12. 6-8) Public-Private Sector Partnership: Effects of Public-Private Sector Partnership, 15th UNESCO-APEID International Conference-Inspiring- Education: Creativity and Entrepreneurship, Indonesia, Jakarta.

11. Yisung Kim(2011.12. 3) Survey on Elementary School Teachers' Perceptions Regarding the Partnership with Corporation for Resilient Community, 2011 International Symposium on "Towards Formation of Resilient Communities", Tokyo City University Yokohama Campus.

12. 金二城(2010)、“日本の環境人材養成の現状からの示唆点”、2010 年韓国環境教育大会。

13. 金二城、リュウ・ゼミョン(2009)、“企業の環境教育可能性—日本の企業と NGO の共同環境教育を中心に”、2009 韓国環境教育大会。

14. Yisung Kim(2005.07) Green School in Metro 2005, Seoul, Korea, 'International Environmental Education Workshop' Japan Environmental Education Forum(JEEF), Asia/Pacific Cultural Centre for UNESCO(ACCU), Japan, Kiyosato.

## [翻訳]

1. 金二城(2016)、『韓・日・中 ご友のための環境教材:われら共有の未来』、TEEN、2016 年、37 頁。 単訳(日本語→韓国語)。

2. 金二城(2012)『自然と友たちになる詩作り』、ブクセンス出版社、2012 年、140 頁。 単訳(英語→韓国語)。

3. 金二城(2011)、『ESD 教材活動ガイド:持続可能な未来への希望』、韓国ユネスコ、2011 年 11 月、142 頁。 単訳(日本語→韓国語)。

## [学内各種委員]

国際交流センター理事長特命補佐

留学生支援センター長

入学者選抜・継続支援管理委員会委員

学生募集戦略部会委員

入学者選抜選考部会委員

キャリア支援部会委員

東京キャンパス強化タスクフォース委員

図書委員会委員

SDGs 研究センター委員

情報化推進センター委員

社会学部入試委員